

HIV 感染症・エイズ

埼玉県域の保健所で実施した HIV 検査

埼玉県では、13カ所の県保健所で HIV 相談検査を実施しています。検査には、希望により他の STD 検査も同時に受けられ、受付後 1 週間で検査結果を知ることができる「通常検査」と、陰性の場合なら採血後 1 時間で結果がわかる「即日検査」があります。

通常検査は、13カ所すべての県保健所で定期的に行っています。一方、即日検査は、朝霞、草加、鴻巣、東松山、狭山、熊谷保健所の 6カ所で定期的に行っています。昨年度は、保健所以外の会場で世界エイズデーなどに合わせた定期外の即日検査も実施しました。

表 1 通常検査及び即日検査の HIV 検査数（即日検査数は県疾病対策課集計）

年 度	通常検査	即日検査	計
18年度(18年4月～19年3月)	1,661 (3)	1,401 (3)	3,062 (6)
19年度(19年4月～20年3月)	2,927 (5)	1,718 (6)	4,645 (11)
20年度(20年4月～21年3月)	2,510 (4)	2,067 (7)	4,577 (11)
21年度(21年4月～22年3月)	1,703 (3)	1,565 (5)	3,268 (8)
22年度(22年4月～23年3月)	1,449 (3)	1,192 (4)	2,641 (7)

(さいたま市、川越市保健所の検査数は除く)

()内の数字は陽性数

昨年度は、通常検査で 1,449 件、即日検査で 1,192 件の計 2,641 件の検査を実施し、うち 7 件の陽性が確認されました(表 1)。また、即日検査で判定保留となったのは 9 件で、そのうち追加検査や確認検査で陰性となったのは 5 件(0.42%)でした。即日検査における判定保留は、陰性または陽性の正しい結果を出すため、さらなる検査が必要であり、そのため 1 週間程度の時間を要するなど、受検者に対する十分な事前説明が大切です。

平成 22 年の HIV 感染者/AIDS 患者報告から

感染症法に基づき報告された平成 22 年(平成 21 年 12 月 28 日～平成 22 年 12 月 26 日の 1 年間)の国内(日本国籍および外国籍者)の新規 HIV 感染者は 1,075 人で 2008 年、2007 年に次いで過去 3 位、新規 AIDS 患者報告数は 469 人で過去最多でした。このうち埼玉県から報告した新規 HIV 感染者は 23 人(全国の 2.1%)、新規 AIDS 患者報告数は 10 人(同 2.1%)でした。これにより国内の累積 HIV 感染者及び AIDS 患者数は、平成 22 年 12 月 26 日現在で、それぞれ、12,623 人、5,783 人となり、このうち埼玉県は、それぞれ 373 人(3.0%)、261 人(4.5%)となりました(報告地別集計)。